

### 1-3 環境影響評価の対象とする環境項目

区分	項目
生活環境	公害に係るもの 大気汚染、水質汚濁（底質を含む）、騒音、振動、 低周波空気振動、悪臭、地盤沈下、土壤汚染
	日照障害、電波障害
自然環境	気象、地象、水象、動物、植物、レクリエーション、自然景観
歴史的文化的環境	文化財、歴史的文化的景観

### 1-4 環境保全基金活用事業一覧

(平成8年度)

事業名	事業概要	事業内容
地域環境保全活動推進事業	市町村が住民参加により実施する環境教育・啓発事業に助成するとともに、民間団体による自主的な環境保全への取組を支援した。	・地域環境保全活動事業費補助 ・環境啓発資料の配付 ・民間団体等環境保全活動助成
環境月間推進事業	8月の環境月間にあわせて、普及啓発イベントを開催するとともに、広報等による集中的な啓発を行った。	・エコライフ・フェスティバル'98の開催 ・広報宣伝
環境教育推進事業	府民一人ひとりに環境に対する理解と認識を深め、その自発的な取組を促進するため、青少年指導者向けの環境学習ハンドブックの作成やリーダー的役割を果たす人材の養成を行った。	・青少年指導者向け環境学習ハンドブック（追録分）の作成 ・環境セミナーの開催
環境コーナー整備事業	身近な環境から取り組むことを提唱した「地球環境保全行動指針」に沿って、民間企業の協力を得て、環境に配慮した行動を府民に促す場として、環境に関する情報を得ながら交流できるコーナー（愛称：環境ふれあいひろば）の整備を促進した。	・環境コーナーモデル施設の設置運用調査 ・環境ふれあいひろばの設置促進
ニューアース'96 出展参加費	地球環境保全・再生に資する機器等を展示し、技術交流を促進することを目的とする「ニューアース'96（地球環境技術展）」に出展参加し、環境に関する府の施策・事業を海外参加者、企業、府民に広く紹介した。	・ニューアース'96 への出展
大気環境啓発プログラム 市町村支援事業	大気環境に関する参加型啓発事業の推進を図るため、市町村が行う住民参加型事業を支援するとともに、事業参加実績に基づき、子どもたちを「あおぞら博士」に認定した。	・参加型プログラムへの支援 ・あおぞら博士の認定
オゾン層保護対策事業 （フロン破壊処理普及促進 事業）	特定フロンの生産全廃により、フロン使用機器の廃棄に伴う回収等が重要かつ緊急の課題となっているため、回収フロンの破壊処理技術の普及を促進した。	・フロン破壊処理装置導入調査
水質保全啓発推進事業	府民活動による快適な水環境の保全と創造の実現を図るため、各種啓発事業を行うとともに、民間団体等への支援を行った。	・「リパークエスト」の増刷 ・民間団体等が実施する啓発事業に対する支援 ・水環境サミットの開催
低公害車普及促進事業	環境にやさしいエネルギー利用のあり方について広く府民の意識高揚を図るため、高校生等が作製したソーラーカーレース等を開催し、また我が国で初めて開催される「国際電気自動車シンポジウム」の運営を支援することにより、低公害車の普及拡大を図った。	・エコ・エナジー OSAKA'96 の開催 ・国際電気自動車シンポジウム (EVS-13) 開催支援
自動車騒音低減対策	自動車騒音低減対策の推進に資するため、現状と対策や地域での対策の推進手法、法制度の体系等を取りまとめ、総合的なマニュアルを作成し、騒音対策事業への活用を図った。	・自動車騒音低減実施対策マニュアルの作成
廃家電リサイクル事業	不用になった家電製品の中で再生可能なものを補修し、府下に在学する留学生及び吹田市の社会福祉施設に無償で提供することにより、回収・補修・再生利用のルートづくりを行うとともに、府民に対して「もの」を大切にすることを意識の啓発を行った。	・廃家電リサイクル事業委託
公共用施設等太陽光発電 システム普及啓発推進事業	地球環境の保全に向けて、エネルギー消費の抑制や循環的利用等の促進について府が先導的に取り組むため、太陽光発電システムのモデル的な導入を図り、市町村等関係機関等への導入を促進した。	・太陽光発電システムの設置 設置場所：村野浄水場 規模：出力 20kW 面積 220㎡